

3 意見の概要

募集テーマ	回答(要約)	居住地	年齢	性別	応募方法
1人口減少に立ち向かう	<p>関東から転勤のため秋田に転入した。人口増を見込み、移住促進PRを山手線車両でキャンペーンをやっているが、秋田に縁のない都心住民に秋田移住を促すのは、非常に効果が薄いと考ええる。関東で生まれ育ち秋田になんの縁もない人間にとって、秋田は全く眼中にない地方都市であり、生活のイメージが沸きにくい気象の問題もある。移住による人口増を見込むのではなく、実現可能性が高く、かつ効果が望めるやり方で、金を落としてもらうことを考えてはどうか。発想を変えれば良いと、常々思っている。例えば、関東では死人が出る位に、酷暑の3～4か月の間、秋田は非常に快適に過ごせるので</p> <p>① 元気で経済的余裕もある老夫婦に、快適な別宅を提供する ② ①により、子ども一家が夏の旅行先に秋田を選ぶ ③ ①②により、なんとなく秋田への親近感が増す など</p>	秋田市	40代	女性	メール
4子育て支援について	<p>任意の予防接種についての助成が不足しているのではないか。健康診断の費用について、もう少し頻度をあげての助成をすべきではないか。</p>	羽後町	30代	男性	メール
	<p>神奈川から秋田へ引っ越してきた。働きに出たいと思っても、働き口が少なく、低賃金すぎるため働く意欲も出ない。秋田で核家族で子供2～3人を産み育てる事は、さまざまな支援がなければ不可能だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス料金の割引 ・タクシーの割引(自宅～病院まで一律とか) ・出産一時金の他に一人目の出産から10万円お金がもらえる ・フィンランドでおこなっているマタニティボックスの支給 ・子供も一緒に出社できるような会社の設立 <p>以上のようなことがあれば、少しは子育てしやすい環境に変わるのではないかと思う。</p>	秋田市	30代	女性	メール
	<p>秋田県の総合戦略として発表された案に、少子化対策として「これから生まれてくる第3子以降」と「第3子以降が生まれた場合の第2子」に関して、保育料の無料化がされるとあった。今、第3子以降の子どもを育てている家庭に対して不公平である。「これから生まれてくる」の部分が強調されていて、まったく納得できない。制度開始前に、3人目を生んだことを差別しないで欲しい。</p>	秋田市	40代	男性	メール
	<p>ひとり親家庭について 現在、両親のいる家庭と同じ(例:高校生→授業料免除等)待遇で、とても大変な生活状況である。朝、昼、夜働かないと追いつかない経済状況、収入が増えると母子手当が減る状況を考えて欲しいと思う。専門学校・大学進学の際は、特別な制度で300万円程度を貸出す制度があれば助かる。</p>	横手市	50代	女性	郵送
	<p>子供を2人産んだ母親が、もう1人産もうと思える施策があれば、子供が増えると思う。</p>	秋田市	40代	女性	郵送
8定住・移住について	<p>高齢者をはじめとすると明記しているが、自分自身で生活できる高齢者なら歓迎するが、認知症の高齢者なら必要ないと思う。自分は、介護施設で仕事をし、利用者からつぶされ精神を壊した職員もいた。秋田で介護ではなく、他の職種で正社員として働く場をつくる方が先にすべきだと思う。</p>	記載なし	40代	女性	メール